



福祉よさのうみ

〈発行〉社会福祉法人 よさのうみ福祉会 〒629-2314 京都府与謝郡与謝野町字岩屋600-6 TEL 050(3532)0601 FAX 0772(43)0606

障害のある人のゆたかな地域生活の実現を! URL <http://www.yosanoumi-fukushikai.or.jp>



オンリーワンの マスクを作りました

細かい作業もていねいに

『コロナウイルスに
負けない!!』

野田川共同作業所

管理者 杉本実信

全国で感染を広げている新型コロナウイルスは収束の見通しが持てないなか、感染拡大防止に向けた取り組みが各事業所でおこなわれています。

野田川共同作業所では、利用者・職員は毎朝出勤前の検温、出勤後も手洗いや手指消毒を徹底し、できるだけ3密の状況を作らないよう換気や食事の取り方、マスクの着用などみんなが意識しながら仕事に向かっています。

下請け作業班では数年前より「N_c r a f t」というブランドを立ち上げ、自主製品としてストラップやがま口財布など利用者・職員で手作りし、物品販売や個別注文などで販売しています。今回、市販マスクの生産が追いつかない状況のなかで、「N_c r a f t」でも手作りマスクの製造を始め、好評にて順調に販売数を伸ばしています。また、4月18日の土曜の取り組みでは、「自分の手作りマスクを作ろう」をテーマにそれぞれが楽しみながら手作りマスクを作りました。

消えてなくなるのではないウイルス、これからもウイルスに感染しないように手洗い、うがい、手指消毒、3密を避ける新しい生活スタイルで、コロナウイルスと付き合っていかなければならないと思います。

法人設立40周年記念企画

よさのうみ福祉会は、2017年に第二次3か年計画(2018年~2020年)を策定し、「次世代へのバトンタッチ」をテーマに、「人材育成」「地域へのアプローチ」「組織・事業再編」に取り組んでいます。2019年には「働く」をテーマに全国障害者問題研究会機関紙「みんなのねがい」の原稿執筆をおこないました。第二次3か年計画最終年の今年度は、12月に法人設立40周年を迎え、次のような記念企画を予定しています。

実践報告会

「確かな実践を学ぼう」

事務局次長 品川 稔

現在、法人設立40周年記念企画として様々な取り組みとその準備を進めております。昨年度はその一環として、全障研より依頼を受け、同会の発行する『みんなのねがい』に障害をもった人の「働く」をテーマに、5事業所の実践をレポートとしてまとめる機会をいただきました。現在法人では「暮らす」にもスポットを当てたレポートをまとめる作業が進められています。更に今年度はこれらのレポート報告をもとにした「実践報告会」を企画することとなりました。

実践報告会担当者会議において、報告会のねらいや具体的なイ

メージについて議論を重ねています。共同研究者でもある佛教大学の鈴木勉先生、田中智子先生のお二人に講師を依頼し、これらレポートに沿った講義を通じて、「職員の学び」を中心にいただいた実践報告会をイメージし、教育研修委員会とも連携を図りながら、10月の開催に向けてその準備を進めています。

しかしながら新型コロナウイルスの影響で担当者会議が延期となったり、予定している会場の使用制限も想定されるなか、当初予定の10月開催については、もう少し慎重に判断することとしております。

法人プロモーションビデオを制作しています！

ホームすみれ 主任 濃野 暁生

法人の「今」を地域へ発信すべく、プロモーションビデオ(以下PV)制作が昨年度より動き出しました。このPVは、地域の小学校や高等学校の障害教育の教材として使っていたことも想定しています。

撮影には、プロのカメラマンを起用し、より確かなものを作っていくと力を入れています。撮影内容は、カメラマンからアドバイスをいただき、シナリオや配役を担当者間で思案し、撮影のメイン事業所を選定しながらイメージを

固めていきました。求めるものは、各事業所のありのままの姿です。既に撮影が終えたところでは、生き生きとした仲間の姿とそこに関わる職員の姿をそれぞれの事業所の味と共に良い映像として納めることができました。

現在、コロナウイルス感染拡大防止の観点から、このPVの撮影も中断している状況です。皆様の生活が一刻も早く元に戻る事を祈りながら、併せて撮影が再開されることを願う日々です。



PV作成中

よさのうみ福祉会のロゴマークを募集しています！

長岡ホーム 主任 西川 悟子

今年12月、よさのうみ福祉会は記念すべき設立40周年を迎えます。今回、40周年企画の一つとして法人の理念をイメージした「ロゴマーク」を作成することになりました。

作成に向けては、原案をよさのうみ福祉会の仲間・職員の皆さんから

募集し、最も「よさのうみ愛」に溢れたものをロゴマークの原案として採用することになっています。

原案として描いていたかどうかは絵でも文字でも構いません。よさのうみ福祉会のイメージ、好きなこと、好きなものなど何でも形(絵や文字)にしてみてください。

採用された方には素敵なプレゼントもご用意します。また完成したロゴマークは法人のホームページ内や名刺や封筒などにも使用させていただきます。

各作業所の仲間のみなさん、職員のみなさんたくさんの応募をよろしく願います。

法人40周年記念コンサート

「地域と共に共感の輪を」

ホーム ゆめおり 管理者 三宅 真奈美

福祉会の40周年を振り返り、地域の方々に感謝の意を伝えていく機会としてコンサートを開催する予定でしたが新型コロナウイルスの影響で次年度に延期となりました。仲間実行委員会を立ち上げ、地域の方々に参加していただく企画や、自閉症ピアニストで有名な紀平凱成コンサートを予定していただきました。コロナ対策をしっかり講じ安心して取り組めるコンサートを引き続き計画し次年度にはぜひ開催したいと思っています。

2019年度法人事業報告及び決算概要説明

社会福祉法人よさのうみ福祉会

1. より良い支援・実践めざして 障害者虐待防止対策

虐待防止を法人の最重要課題として位置づけ、これまでの取り組みを引き続き推進するとともに、「障害者虐待再発防止計画」障害のある人たちに対するより良い実践・支援のために」を11月に作成し、①職員の人権を尊重する意識の醸成と支援・実践力の一層の向上、②職員集団の質を高め組織内の風通しを良くする、③虐待再発防止計画の定着の3つを重点課題とし、その具体策として20項目の取り組みを掲げました。

利用者への支援の共有化を図るための事例検討会、また職員の職場や法人に対する意見の把握のための京都府が推奨する「福祉職場組織活性化アンケート」、スマートフォンなどを使った法人事務局への意見投稿、理事長による事業所ごとの職員懇談会、さらに事業所ごとの虐待防止委員会の開催など、これまでの取り組みに加えて新たな取り組みも実施しました。

2. 職員の確保と育成

(1) 職員の育成

職員育成委員会が研修を含む職員育成全般についての立案、企画、検証をおこない、教育研修委員会はそのらに基づいて法人内の研修

会を実施しました。「めざす職員像」から求められる階層別の職員育成の内容に基づき、法人内研修のねらいや現状から求められる課題を検討して中身づくりをおこないました。特に第2次3カ年計画にも掲げた次世代育成を意識したねらいの論議をおこない、全職員研修会をはじめ、新任職員研修、フォロワーシップ研修、中堅職員研修、チームリーダー研修、主任研修、管理者研修など階層別研修会、法人内事業所見学ツアー、交換実習を実施しました。

全障研「みんなのねがい」の「働く」をテーマにして実践検討とレポート作成をおこない、10月号から3月号までの6回掲載されました。さらに法人独自に進めてきた「暮らす」をテーマにした実践検討とレポート作成にも取り組みました。個々のテーマに基づきレポート作成委員会が研究者も交えた学習の場ともなりました。

(2) 職員の確保

職員不足は当法人においても深刻な状況となっております。特に変則勤務にある職員の配置は引き続きより困難な状況ですが、日中事業所においても募集しても応募者がいない状態が続いています。大学との連携、社会福祉資格取得実習、インターシップ、フィールドワークなどを積極的に受け入れ、Uター

ン・Iターン者、転職者などの中途採用者確保に向け取り組みました。また、ハローワーク以外にも民間人材派遣会社と契約をおこなって、職員の確保に努めました。

(3) 職場環境の改善

「行動計画」(2019年度～2022年度)の目標に掲げた、所定外労働時間削減、離職率の削減、年次有給休暇取得率の向上にむけて取り組みました。

また、職員健康委員会では、メンタルヘルス簡易ストレス度チェックリストを全職員対象に実施しました。また、腰痛予防のための「腰痛に効くおススメの体操」を取り組みました。

3. 第2次3カ年計画の推進

人材育成、地域へのアプローチ、組織・事業再編の3つを基本方針とする第2次3カ年計画(2018年度～2020年度)を策定しました。これら第2次3カ年計画の推進と進捗状況を検証し必要な手立てをうち、実行、実現に向けての取り組みをおこなうために、エリア代表者会議がその役割を担ってきました。各エリア運営会議での論議を踏まえ、2ヶ月ごとにエリア代表者会議でその進捗状況の把握と課題の解決を図ってきました。

4. 地域へのアプローチ

(1) 法人40周年

法人40周年事業は、①生き生きと働き暮らす仲間の姿を地域に発信する、②地域で連携して取り組むことで人材育成の機会とする、③京都北部の運動の歴史を次世代に引き継ぐなどを目的に、2020年度に実施する予定です。

「働く」「暮らす」のレポート作成、実践報告会、記念企画、プロモーションビデオ、ロゴマーク作成などを計画し、2019年度は担当者会議を重ね開催にむけた準備を進めてきました。「働く」のレポート作成は「みんなのねがい」に6回掲載、プロモーションビデオは作成にむけて年度末に各事業所での撮影を実施しました。

さらに法人40周年企画として、「みんなでつくる音楽会」「府民音楽祭」出場や職員学習会、与謝野町エリアでの野田川共同作業所40周年・夢織りの郷20周年を記念した映画上映、宮津伊根エリアでのみやづ作業所30年・伊根の里10周年を記念したイベント開催、圏域エリアでの学習会とこまち開設10周年を記念した「丹後圏域障害者雇用促進セミナー」などを実施しました。

(2) きょうされん40周年記念映画の上映運動

きょうされんが40周年を記念して制作した映画「星に語りて」の上映運動を野田川共同作業所40周年・夢織りの郷20周年を記念して実施しました。また、映画の上映だけではなく、広く地域サークルへ呼びかけ、地域の方との大合唱もおこないました。

アンケートには「震災後に障害のある方に起こっていたことや、ニュースでは知り得なかったことを知ることができて良かった。」などの声が多く寄せられ、いつ起こるかかわからない大災害に対する意識を持つ機会となりました。

(3) 地域連携・法人間連携

リフレかやの里における農福連携の取り組みや「やすらの里」(ワークセンター花音)における異業種間の協働は、地域ニーズ実現をめざす地域と福祉と行政の連携の具現化であり、これらの取り組みを引き続き進めてきました。

与謝野町より高齢者の介護予防・日常生活支援事業の委託を受け、カフェショップ花鈴では食事会や手作り教室を開催し、高齢者を中心に地域の方とともに取り組みをおこなっています。

「京丹後市障害者事業所製品販売連絡協議会」におけるメインでの「クリエイティブショップくりくり」は

持続・発展の可能な店舗運営、組織・財政構造など店舗のあり方やその存在意義について論議・検討を重ねました。また、店舗での特販やイベント、メイン店舗以外の積極的な販売、専門家を講師に「糖質オフ」などの健康志向に特化した商品開発に着手するなど、売上アップに向け努力を重ねました。

(4) 「きょうされん」「京都北部障害者問題連絡会」の中心的役割を担って

障害のある人たちの暮らしの向上、また事業所の諸課題解決のためには、国や地方自治体の施策や制度の充実が極めて重要です。そのため「きょうされん」や「京都北部障害者問題連絡会」の運動に積極的に参加するとともに、法人職員を役員として派遣し運動の中心的役割を担ってきました。

特に2019年度はきょうされん全国常任理事を当法人から派遣し、「報酬改定に対する緊急要望署名」「第43回国会請願署名」などの、きょうされん運動を取り組みました。運動を通して制度の改善を求めていくことの大切さなどを再度確認する機会ともなり、また、毎回の職員会議で全国的な情勢や対応を報告し、全国の法人との連携や交流等を当法人の実践や事業に反映することができました。さらに「京都北部障害者問題連絡会」

の事務局長をはじめとした役員を担い、北部市町への要望活動等の取り組みを進めました。

5. 組織・事業所の特徴

(1) 宮津での新たなホーム「あいりす」「すすもす」の開設

ホームすみれは複数の箇所に分散していましたが、利用者の住みやすい環境整備、支援の向上、経営や管理上の改善を図るため、2018年度末に建設し、「あいりす」「すすもす」を2019年5月に開設させ利用者のより良い暮らしのための支援を拡充することができました。

(2) 宮津・伊根エリアにおける今後の事業展開とすまいるの統合

3カ所に分散しているすまいるについては新たな場所で統合することを基本方針とし、場所や事業の内容などの検討をおこなってきました。2019年度は一つの建物を返却し、2カ所で事業を進めています。現在の建物は2022年9月に借用終了となり、民間または公有の土地及び建物への移転などについて、検討を進めています。

(3) 相談事業を通じた地域生活の支援充実

市・町からの委託である相談支

援事業は障害があることによる「生活のし辛さについて時間をかけ対応し、本人や家族の困りごとや不安感を聞き取り、制度利用やサービス利用に繋いだり、定期的な面談し様子を伺うなど、多様な障害がある方の相談を受けました。

就業・生活支援センターこまちは、精神障害、発達障害、高次脳機能障害、難病等への支援など特定の障害の対応が増加しています。また、職場定着支援の増加と合わせて、就労定着の裏付けとなる生活支援の伸び率が増加しています。

(4) 居宅介護事業の取り組み

利用者や親の高齢化にともなう親の介護負担が大きく膨らみ、親や家族の体調不良等で入院されると、利用者の生活がヘルパーだけでは支えきれないケースも出てきています。また職員の退職により、利用をお断りせざるを得ない方がありましたが、生活に支障がないよう、他の事業所に依頼し繋ぎをする対応をおこないました。

(5) 法人組織運営

2019年度理事会は10回、評議員会は3回開催して、事業計画や予算にもとづく法人や事業所運営に関わる様々な課題についての審議や重要な内容を議決してきました。また42回の常任理事会、毎月2回のエリア代表者会議、15回

の管理者会議を開催して、理事会や評議員会の議決に基づく事業の推進を図ってきました。さらに、2019年度から主任会議を2か月ごとに開催して、所属事業所のみならず他事業所や法人全体の方針や課題を学ぶとともに管理職としての育成の機会としました。

(6) 委員会・部会活動の一層の活発化

法人が各部門に共通する重要な課題に取り組むために、2019年度は6つの委員会と6つの部会、3つの諮問委員会等を設置して活動しました。委員会・部会の活動が進むよう、年度末に各委員会・部会ごとに事業総括と計画を論議・確定させ、その進捗状況は法人事務局が把握してきました。これらによりそれぞれの委員会・部会活動を活発に進めることができ、法人内の諸課題を推進することができました。

6.2019年度決算の主な特徴

ホームの延べ利用人数は宮津の「あいらす・こすもす」開設等により増加しています。一方で日中事業所は4年連続の前年度比減となりました。法人全体(相談、こまち、ヘルプ除く)の前年度比の延べ利用人数は2018年度法人として初めて減少しましたが、2019年

度は2018年度を少し上回りしました。

サービス活動収益(収入)は2017年度までは毎年前年度を上回って増加していましたが、2018年度は法人として初めて前年度を下回りましたが、2019年度は2018年度を若干上回りました。

事業費・事務費(水光熱費、車輛費などの事業所維持費)は与謝野町や宮津市で新たなホームを開設してはいますが、経費の削減対策により7年間で大きな増減はありません。

職員給与規程改定により2019年度「賞与は業績(収支差率)に基づいて2018年度支給月数の8割で支給しました。これにより2018年度80.5%の人員費比率は2019年度76.3%と減少しましたが、全国の法人の平均値の67.1%(2018年度)と比較しても高い数値になっています。2018年度法人として初めてマイナス(-1.3%)となった収支差率は、2019年度1.9%となり、目標の3%には届きませんでした。

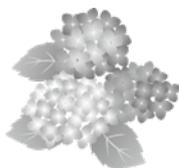
7.おわりに

障害者虐待防止対策を一層進めるため「障害者虐待再発防止計画」障害のある人たちに対するより良い実践・支援のために」を策定

し、障害者権利条約及び障害者基本法の理念やよさのうみ福祉会の「めざすもの」に立ち返り、実践力・支援力を高める取り組みを進めています。また、国の制度改悪や利用者の減少等による法人の経営状態が厳しくなる中で、職員給与体系の見直しによる「賞与の実績に基づく支払いに変更せざるを得ませんでした。

しかし、こうした中でも、各事業所での事例検討会、「働く」「暮らす」のレポート作成に関わる論議などによる支援・実践の向上への取り組み、法人40周年にむけた各エリアでの取り組みや法人全体事業の準備、「職員育成委員会」「教育研修委員会」による多様な研修企画と多くの職員参加、など様々な取り組みを関係者の力を合わせて進めてきたのも特徴です。

法人第2次3カ年計画(2018～2020年度)は、将来にわたって事業を継続していくための次世代へのバトンタッチを重点課題とし、①人材育成、②地域へのアプローチ、③組織・事業再編の3つを基本方針としています。2020年度に我が法人は40周年を迎えます。40周年をむかえ様々な取り組みを実施することを契機に、利用者への実践や支援、地域との連携などを一層向上させていきたいと思っております。



貸借対照表

2020年3月31日 現在

社会福祉法人よさのうみ福祉会

(単位：円)

| 資産の部 | | 負債の部 | |
|---------------|----------------------|--------------------|----------------------|
| 勘定科目 | 当年度末 | 勘定科目 | 当年度末 |
| 流動資産 | 872,007,577 | 流動負債 | 249,248,165 |
| 現金預金 | 584,917,776 | 事業未払金 | 192,520,301 |
| 現金 | 581,480 | 事業未払金(社会保険料) | 6,977,764 |
| 施設会計 | 36,300 | 事業未払金(共済会) | 1,333,374 |
| 就労会計 | 545,180 | その他の未払金 | 35,826,778 |
| 小口現金 | 565,791 | 就労会計 | 35,826,778 |
| 施設会計 | 361,236 | 1年以内返済予定設備資金借入金 | 11,555,000 |
| 就労会計 | 204,555 | 職員預り金 | 0 |
| 施設普通預金 | 467,105,154 | 社会保険料 | 0 |
| 就労普通預金 | 101,548,361 | 共済会 | 0 |
| 定期預金 | 15,116,990 | 仮受金 | 1,034,948 |
| 事業未収金 | 242,530,390 | 施設会計 | 259,806 |
| 事業未収金(給与) | 207,523 | 就労会計 | 775,142 |
| 事業未収金(利用料) | 5,753,767 | 固定負債 | 152,112,241 |
| 未収金 | 9,363,157 | 設備資金借入金 | 148,790,000 |
| 未収補助金 | 4,438,400 | 退職給付引当金 | 3,322,241 |
| 給食用材料 | 315,240 | 負債の部合計 | 401,360,406 |
| 商品・製品 | 4,196,262 | 純資産の部 | |
| 仕掛品 | 1,206,936 | 基本金 | 326,725,772 |
| 原材料 | 6,149,269 | 基本金 | 326,725,772 |
| 立替金 | 150,060 | 国庫補助金等特別積立金 | 478,139,848 |
| 施設会計 | 50,000 | 国庫補助金等特別積立金 | 478,139,848 |
| 就労会計 | 100,060 | その他の積立金 | 301,785,950 |
| 前払費用 | 5,869,727 | その他の積立金 | 301,785,950 |
| 施設会計 | 5,104,375 | 人件費積立金 | 57,000,000 |
| 就労会計 | 765,352 | 修繕積立金 | 197,185,950 |
| 短期貸付金 | 2,000,000 | 備品等購入積立金 | 47,600,000 |
| 仮払金 | 4,909,070 | 次期繰越活動増減差額 | 801,874,481 |
| 施設会計 | 4,511,541 | (うち当期活動増減差額) | 28,306,712 |
| 就労会計 | 397,529 | 純資産の部合計 | 1,908,526,051 |
| 固定資産 | 1,437,878,880 | | |
| 基本財産 | 882,413,321 | | |
| 土地 | 112,258,000 | | |
| 建物 | 769,055,321 | | |
| 定期預金 | 1,100,000 | | |
| その他の固定資産 | 555,465,559 | | |
| 土地 | 8,559,520 | | |
| 建物 | 46,770,046 | | |
| 建物附属設備 | 126,009,628 | | |
| 構築物 | 17,117,699 | | |
| 機械及び装置 | 4,401,880 | | |
| 車輛運搬具 | 3,012,351 | | |
| 器具及び備品 | 40,370,579 | | |
| 建設仮勘定 | 0 | | |
| 権利 | 3,574,580 | | |
| ソフトウェア | 69,984 | | |
| 投資有価証券 | 100,000 | | |
| 退職共済預け金 | 3,322,241 | | |
| 退職共済預け金 | 3,322,241 | | |
| 人件費積立資産 | 57,000,000 | | |
| 修繕積立資産 | 197,185,950 | | |
| 備品等購入積立資産 | 47,600,000 | | |
| 長期前払費用 | 371,101 | | |
| 施設会計 | 371,101 | | |
| その他の固定資産 | 0 | | |
| 資産の部合計 | 2,309,886,457 | 負債及び純資産の部合計 | 2,309,886,457 |

資金収支計算書

(自)2019年4月1日 (至)2020年3月31日

社会福祉法人よさのうみ福祉会

(単位：円)

| 勘定科目 | | 予算(A) | 決算(B) | 差異(A)-(B) | 備考 | |
|---------------------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|-------------|--|
| 事業活動による収支 | 収入 | 就労支援事業収入 | 187,843,022 | 186,566,160 | 1,276,862 | |
| | | 障害福祉サービス等事業収入 | 1,233,657,124 | 1,239,405,727 | △5,748,603 | |
| | | 雑収入 | 6,764,700 | 7,542,553 | △777,853 | |
| | | 借入金利息補助金収入 | 251,143 | 318,183 | △67,040 | |
| | | 経常経費寄附金収入 | 5,171,558 | 5,949,265 | △777,707 | |
| | | 受取利息配当金収入 | 11,403 | 12,665 | △1,262 | |
| | | その他の収入 | 8,352,300 | 7,974,300 | 378,000 | |
| | 事業活動収入計(1) | 1,442,051,250 | 1,447,768,853 | △5,717,603 | | |
| | 支出 | 人件費支出 | 902,404,356 | 956,443,959 | △54,039,603 | |
| | | 事業費支出 | 102,215,283 | 98,828,753 | 3,386,530 | |
| | | 事務費支出 | 127,004,012 | 123,984,189 | 3,019,823 | |
| | | 就労支援事業支出 | 186,267,129 | 186,986,746 | △719,617 | |
| | | 利用者負担軽減額 | 223,200 | 204,600 | 18,600 | |
| | | 支払利息支出 | 923,920 | 930,982 | △7,062 | |
| その他の支出 | | 4,198,500 | 3,723,850 | 474,650 | | |
| 事業活動支出計(2) | 1,323,236,400 | 1,371,103,079 | △47,866,679 | | | |
| 事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2) | | 118,814,850 | 76,665,774 | 42,149,076 | | |
| 施設整備等による収支 | 収入 | 施設整備等補助金収入 | 2,967,000 | 4,033,160 | △1,066,160 | |
| | | 施設整備等寄附金収入 | 15,050,294 | 15,166,934 | △116,640 | |
| | | 施設整備等収入計(4) | 18,017,294 | 19,200,094 | △1,182,800 | |
| | 支出 | 設備資金借入金元金償還支出 | 11,555,000 | 11,555,000 | 0 | |
| | | 固定資産取得支出 | 10,627,515 | 11,528,323 | △900,808 | |
| 施設整備等支出計(5) | | 22,182,515 | 23,083,323 | △900,808 | | |
| 施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5) | | △4,165,221 | △3,883,229 | △281,992 | | |
| その他の活動による収支 | 収入 | その他の活動による収入 | 0 | 247,723 | △247,723 | |
| | | その他の活動収入計(7) | 0 | 247,723 | 270,697,276 | |
| | 支出 | 積立資産支出 | 0 | 70,000,000 | △70,000,000 | |
| | | その他の活動による支出 | 0 | 354,372 | △354,372 | |
| | | その他の活動支出計(8) | 0 | 70,354,372 | 200,590,627 | |
| その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8) | | 0 | △70,106,649 | 70,106,649 | | |
| 予備費支出(10) | | 0 | — | 0 | | |
| 当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10) | | 114,649,629 | 2,675,896 | 111,973,733 | | |
| 前期末支払資金残高(12) | | 619,770,809 | 619,770,809 | 0 | | |
| 当期末支払資金残高(11)+(12) | | 734,420,438 | 622,446,705 | 111,973,733 | | |

第二号第一様式

事業活動計算書

(自)2019年4月1日 (至)2020年3月31日

社会福祉法人よさのうみ福祉会

(単位:円)

| 勘定科目 | | 当年度決算(A) | 前年度決算(B) | 増減(A)-(B) | |
|------------------------------------|---------------------------|---------------------|---------------|---------------|--------------|
| サービス活動増減の部 | 収益 | 就労支援事業収益 | 186,566,160 | 171,331,274 | 15,234,886 |
| | | 障害福祉サービス等事業収益 | 1,239,405,727 | 1,239,213,201 | 192,526 |
| | | 雑収益 | 7,542,553 | 9,000,714 | △1,458,161 |
| | | 経常経費寄附金収益 | 5,949,265 | 7,976,337 | △2,027,072 |
| | サービス活動収益計(1) | | 1,439,463,705 | 1,427,521,526 | 11,942,179 |
| | 費用 | 人件費 | 956,443,959 | 1,012,267,115 | △55,823,156 |
| | | 事業費 | 99,020,059 | 99,833,181 | △813,122 |
| | | 事務費 | 127,088,159 | 126,226,349 | 861,810 |
| | | 就労支援事業費用 | 189,516,911 | 177,805,297 | 861,409 |
| | | 利用者負担軽減額 | 204,600 | 200,587 | 4,013 |
| | | 減価償却費 | 77,223,374 | 71,216,027 | 6,007,347 |
| | | 国庫補助金等特別積立金取崩額 | △34,070,754 | △37,443,595 | 3,372,841 |
| | サービス活動費用計(2) | | 1,415,426,308 | 1,450,104,961 | △34,678,653 |
| | サービス活動増減差額(3)=(1)-(2) | | 24,037,397 | △22,583,435 | 46,620,832 |
| サービス活動外増減の部 | 収益 | 借入金利息補助金収益 | 318,183 | 352,592 | △34,409 |
| | | 受取利息配当金収益 | 12,665 | 16,677 | △4,012 |
| | | その他のサービス活動外収益 | 7,974,300 | 9,077,670 | △1,103,370 |
| | サービス活動外収益計(4) | | 8,305,148 | 9,446,939 | △1,141,791 |
| | 費用 | 支払利息 | 930,982 | 1,002,072 | △71,090 |
| | | その他のサービス活動外費用 | 3,723,850 | 4,488,045 | △764,195 |
| サービス活動外費用計(5) | | 4,654,832 | 5,490,117 | △835,285 | |
| サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5) | | 3,650,316 | 3,956,822 | △306,506 | |
| 経常増減差額(7)=(3)+(6) | | 27,687,713 | △18,626,613 | 46,314,326 | |
| 特別増減の部 | 収益 | 施設整備等補助金収益 | 4,033,160 | 11,788,983 | △7,755,823 |
| | | 施設整備等寄附金収益 | 15,166,934 | 639,008 | 14,527,926 |
| | | 特別収益計(8) | 19,200,094 | 12,427,991 | 6,772,103 |
| | 費用 | 基本金組入額 | 15,050,294 | 0 | 15,050,294 |
| | | 固定資産売却損・処分損 | 1 | 88,055 | △88,054 |
| | | 国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等) | 0 | △16,111 | 16,111 |
| | | 国庫補助金等特別積立金積立額 | 3,530,800 | 6,868,623 | △3,337,823 |
| | 特別費用計(9) | | 18,581,095 | 6,940,567 | 11,640,528 |
| | 特別増減差額(10)=(8)-(9) | | 618,999 | 5,487,424 | △4,868,425 |
| | 当期活動増減差額(11)=(7)+(10) | | 28,306,712 | △13,139,189 | 40,545,901 |
| 繰越活動増減差額の部 | 前期繰越活動増減差額(12) | | 843,567,769 | 1,029,306,958 | △185,739,189 |
| | 当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12) | | 871,874,481 | 1,016,167,769 | △145,193,288 |
| | 基本金取崩額(14) | | 0 | 0 | 0 |
| | その他の積立金取崩額(15) | | 0 | 27,400,000 | △27,400,000 |
| | 移行時特別積立金取崩額 | | 0 | 27,400,000 | △27,400,000 |
| | その他の積立金積立額(16) | | 70,000,000 | 200,000,000 | △130,000,000 |
| | 人件費積立金積立額 | | 0 | 50,000,000 | △50,000,000 |
| | 修繕積立金積立額 | | 50,000,000 | 130,000,000 | △80,000,000 |
| | 備品等購入積立金積立額 | | 20,000,000 | 20,000,000 | 0 |
| 次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16) | | 801,874,481 | 843,567,769 | △41,693,288 | |

**「コロナ禍の中で
浮き彫りになったこと」**

きょうざれん全国理事
峰山共同作業所管理者 山口 高志

新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るう中、5月中旬、パングラディッシュにある難民キャンプで難民2人の感染が確認されたと報道がありました。感染拡大を防ぐためには人との接触を避け距離を保つこと、マスクの着用や手洗い等清潔保持の徹底が有効ですが、この難民キャンプでは、およそ100万人が劣悪な環境で密集して生活しており、「何千人も死ぬ恐れも」と報じられました。大きな災害や緊急事態の時に社会の矛盾や問題点が浮き彫りになるとはよく言われますが、その事を如実に表しています。

日本においても様々な問題が浮き彫りになっています。バブル崩壊後、国の財政抑制や制約を加えない自由競争を是とする新自由主義の考え方で国の施策が進められました。その結果、地域保健の重要な役割を担う保健所が1992年には852カ所の設置に対し、2019年には472カ所に減らされPCR検査が遅々として進まないなど、新型コロナウイルスへの対応に大きな影響が出ました。

また、障害者分野においても、千葉県の入所施設で、約7割の入

所者を含む関係者118人に及ぶクラスター感染が発生。入院できる病床数が足りず、障害のある多くの感染者は施設内での隔離治療を余儀なくされました。障害のある人の日本における立場や障害福祉制度の不備など、様々な問題が内在しています。

コロナ禍のあとの新しい生活様式を求める声が出ていますが、個人の生活様式だけではなく、新しい価値観で一人ひとりが大切にされる社会をめざし、みんなで考え議論することが大切なのではないでしょうか。

**＊おのり時間が楽々♪なる＊
VAVO商品の紹介**

くりくりよりこの時期にぴったりなおうち商品をご紹介します。

〜雑貨ひのき製品2種〜

①子猫3匹、親猫1匹がセットになった積み木「あそんでにゃん」子猫を増やすといろいろな形に積み上げられます。(4個セット1800円)

②メモホルダー「はさまるアニマル」イルカとペンギンが夏をさわやかに感じさせてくれます。(ピンチ付き550円、ピンチ無し500円)

〜食品味付きこんにやく3種〜

一口サイズのこんにやくの中央に

ごぼう、生姜、するめを入れ味付けした「生姜こんにやく」「ごぼうこんにやく」「するめこんにやく」「唐辛子がピリッと効いておつまみに、おかずの一品に。袋から出してすぐ食べられます。(一袋10個入り200円)(価格はすべて税別)楽しい、おいしい商品でこれからの夏をさわやかに乗り切りましょう。



味付きこんにやく3種

お問い合わせ マイナンバー
クリエイティブショップくりくり
☎0772・62・4888

ご寄付御礼

みなさまからのご寄付、誠にありがとうございます。

2020年4月18日〜2020年6月17日
(順不同・敬称略)

日下部みはる
有吉加代子
峰山共同作業所・みねやま作業所・
ゆうゆう作業所・るむを支える会

会長 堀江正己

その他匿名でもたくさんのご寄付をいただいております。

編集後記

コロナ禍で変わったことの一つは私の長い間の夢が無くなったこと。30歳の頃からピースポートに乗って世界一周することを夢見ていた。しかしその時は幼い子どもを抱える身で親子で乗るお金はなかった。その後も毎年街に貼られているポスターを見ては「今年は南半球か、いいなあ、いつか行きたいなあ」などと思いつながら年月は過ぎた。そしてやっとあと数年したら乗ろうと現実味を帯びてきた時にダイヤモンドプリンセス号の感染が起きた。今後船の旅を楽しむならば、第一に船の中の安全が守られなくてはならないし、さらに寄港地での安全が担保されないといけない。不安を抱えて実行するような類のことではない。

これからウイズコロナの「新しい生活」の中での新しい旅の形が模索されるのだろう。人間には日々の暮らし、楽しみだけでなく、未来への夢や希望が必要だ。(山)

私の夢



巨人を応援したい!

伊根の里

大門 和樹さん

元高校球児なので、今でも野球が大好きです。最近では自分でプレーすることは無くなったので、休日にTVで野球中継を見ている。今年も毎年楽しみにしている、夏の高校野球が無くなったのでとても残念です。こうなったら好きな巨人が優勝するように応援します。

自分は超真面目な性格なので、伊根の里での仕事も毎日頑張っています。何かやりたいことを見つけたときには、突き進む性格ですけど、いろんなことにチャレンジしたいし、いろんなことにふれてみたいと思っています



オーケストラに入りたい!

ワークセンター花音

山本 瀬奈さん

1年前に、支援学校を卒業して花音に通所を始めました。夢は働いたお金を貯めてトランペットを買うことでした。1年間清掃班で頑張り、今年の4月にトランペットが買えました。でも吹くと近所に迷惑がかかって吹けないので、花音の支援員さんに相談したら、先生を紹介してくれて、習えることになってうれしい〜。わ〜い!がんばる! 次の夢は、オーケストラみたいな中に入って、他の楽器ともコラボして音楽でみんなを笑顔にしたいです。あと花音でもっと頑張って、リーダーになってみたいと思います。



ゲームや仮面ライダーを語りたい!

峰山共同作業所

深田 海人さん

去年の4月に峰山共同作業所に入りました。今年4月からは清掃作業にも行っています。最初はわからないことがいっぱい先輩に教えてもらいながらがんばっています。今までに作業所で仕事をがんばることをみつけてから、いろいろなお仕事をみつけて就職をしていきたい。いつかは一人暮らしができるようにお金をためていきたい。仕事をしながら大好きなゲームのことや仮面ライダーのことを語っていききたい。



ゴールデンボンバーのライブに行きたい!

ゆうゆう作業所

谷井 友香さん

ゆうゆう作業所に入所して、6年目になりました。

今している仕事は、煎餅焼きをしています。煎餅の生地を鉄板に流す作業が楽しいです。気を付けていることは、煎餅が大きくならんように小さく…将来してみたいことは、くりくり販売に行きたい。実習もやってみたい。就職したい。ゴールデンボンバーのライブ♪に行きたーいーい!! 入所当初は自分の思いを伝えることが苦手でしたが、今はやってみようことをたくさん話してくれます。思いの実現に向けて日々頑張っています♪



いろいろな電車に乗りたい!

リフレかやの里

栗田 侑馬さん

支援学校卒業後、夢織りの郷ハウス班へ入所し、現在はリフレかやの里ハウス班で農作業をしています。

ハウス班ではねぎの栽培をしていて班長としてみんなを引っ張っています。

自走式草刈り機を使って畑周辺の草刈りも率先して頑張っています。これからもみんなで楽しく仕事をしたいです。

夢はHKTのコンサートに行くことです。電車も大好きで、2〜3か月に一度は電車が好きな友だちと京都に行ってそこらいろいろな電車に乗っています。これからもいろいろな所に出かけてたくさん電車に乗ったり見たりしたいです。



AKBのコンサートに行きたい!

すまいる 村中 亨次さん

「すまいる」の中で、僕は若手ナンバー2です。

常にサングラスをかけている人はかっこいいと思っています。でも、室内で

かけていて壁にぶつかったりして、職員さんによく注意を受けています。

作業は100円均一の商品のラベル貼りや吸盤入れなどの工程をこなしています。時折、ポーと空を見上げて、会ってみたいAKBのメンバーを思ったりして、仕事中心だということを忘れてしまう時もあります。

今一番、まじかに叶えたいことはAKBのコンサートや握手会に行って生の彼女たちに会うことです。お金をしっかり貯めて、いくために仕事を頑張りたいと思います。